

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.79)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、安全操業に努めてPCB廃棄物処理を継続しており、10月の処理実績は下表のとおりです。

写真(上)は、受け入れた大型トランスを受入検査室に移動しているところです。写真(下)は受入検査が完了し、解体ラインに引き渡すときに、外部部品の取り外し状況などについて受入班と解体班で引継ぎを行っている様子です。

今後も安全第一にPCB廃棄物の処理を進めてまいります。

平成22年10月の操業実績

種 別		受入台数	ライン投入台数
コンデンサ類		253 台	546 台
トランス類	大 型	4 台	4 台
	小 型	17 台	17 台
	車 載 型	2 台	2 台
廃PCB等		8 個	8 個
保管容器		2 個	2 個

※受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数とライン投入台数に差が生じます。



受け入れた大型トランス(総重量1,700kg)



引継ぎ打ち合わせの様子

2. PCB廃棄物の11月の受入計画について

平成22年11月の受入計画(予定)

種 別		受入台数
コンデンサ類		347 台
トランス類	大 型	1 台
	小 型	15 台
	車 載 型	0 台
廃PCB等		0 個
保管容器		0 個

11月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、愛知県内から224台、岐阜県内から63台、静岡県内から59台、三重県内から1台を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から16台を受け入れる予定です。また、車載型トランス、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)、保管容器の受入予定はありません。

3. 少量保管事業者に対する説明会の開催について

弊社では、処理対象であるPCB廃棄物(トランス、コンデンサ等)の少量保管事業者を対象に、各地で『PCB廃棄物処理説明会』を開催しています。

10月7日には愛知県知多郡を対象に説明会を実施し、合わせて22社の事業者の方々にご出席いただきました。

説明会では、平成23年4月～6月の重点搬入期間に向けて、受入までに進めていただく契約諸手続き、事業者間の積み合わせ運搬等の説明を行いました。

今後も計画的に少量保管事業者向けの説明会を実施し、少量保管物にも配慮したPCB廃棄物の処理を継続してまいります。



説明会の様子(知多郡会場)

4. ISO審査について



審査の様子

豊田施設では、豊田市と弊社の間で締結している『豊田ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業に係る安全性と環境保全の確保に関する協定書』に基づき、環境マネジメントシステムを構築・運用し、平成20年11月14日付けでISO14001の認証を取得しております。

本年度は、1年ごとの定期審査として、9月29、30日の2日間に外部の認証機関の審査を受けました。環境面からも継続的改善を行っていることが評価され、特に指摘事項はありませんでした。

今後も引き続き、環境方針の実現にむけて目的、目標を達成するように、環境マネジメントシステムを適切に運用してまいります。

5. 全国労働衛生週間における実施内容

平成22年度の全国労働衛生週間は「心の健康維持・増進 全員参加でメンタルヘルス」のスローガンのもと、10月1日～7日に実施されました。

豊田事業所では、社員の労働衛生意識のいっそうの高揚を図ること、社員ひとり一人の心身の健康を大切にすること、明るく活気ある職場作りをすること、を目的として、1日には衛生大会を、又一週間を通して職場単位で下記の取組みを行いました。

- ①職場の4S活動: 各自の身の回りの整理・整頓・清潔・清掃
- ②保護具の清掃・点検: マスク、ゴム長靴、ヘルメット等の清掃・点検
- ③衛生パトロール: 衛生面の総点検



衛生パトロールの様子

6. 環境モニタリング調査等の実施について



環境測定(土壌サンプリング)の様子

豊田施設では、豊田市との協定に基づき、PCB廃棄物処理事業の実施により周辺の生活環境に影響を与えていないかを確認するため、定期的に環境モニタリング調査を実施しています。

10月25日～11月1日は①周辺環境(大気、土壌、地下水)、②排気、③排水について測定・調査を行いました。

調査結果の詳細については、今後弊社ホームページで公表する予定です。なお、過去の環境モニタリング等の結果もホームページで公表していますので参照ください。

7. 受入検査室内での漏洩について

10月27日、当施設の受入検査室内でコンデンサの取り出し作業中に、コンデンサが倒れ碍子部分を損傷し、PCB油約2リットルがトレイ内に漏洩しましたが、トレイ内の吸収材に吸収され外部への流出はありませんでした。また、測定の結果事故時の空気中PCB濃度の異常は認められませんでした。

暫定対策として取出し作業時にはクッションで囲い、コンデンサが倒れないようにして作業を行っております。今後このような漏洩を発生させないよう、さらに再発防止について社内で検討してまいります。



碍子損傷



補修後



対策後

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>